

令和6年度の重点課題

- 男子
・「反復横跳び」「50m走」「立ち幅跳び」が、県平均値かつ全国平均値を下回っている。
- 女子
・「反復横跳び」「立ち幅跳び」が、県平均値かつ全国平均値を下回っている。
- 全体
・「反復横跳び」「立ち幅跳び」が、県平均値かつ全国平均値を下回っている。
・「握力」においては、県平均値は超えているが、全国平均値より低い。
・素早く動きだしたり、タイミングよく動いたりすることが苦手な児童が多い。また、体のバランスを保ちながら動くことが苦手である。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

- 年間を通して、遊具を使ったサーキットトレーニング、グーパー体操、親指タッチを継続して行った。
- 握力向上のため、業間体育で遊具（鉄棒、登り棒、雲梯）を使った運動を継続して行った。
- 体育朝会で素早く動く、タイミングよく動く、体のバランスを保ちながら動く運動の場を設定した。
- 日常的に、リズムに合わせて体を動かしたり、素早く体を動かしたりできる運動をチャレンジ10に加えた。
- 運動を身近に感じられるように、体育委員が主となり、様々な運動のコツやポイントを伝える場を設定した。

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.90	20.00	31.20	40.30	45.70	9.50	157.60	25.00	54.20	第5学年	15.90	17.10	33.20	41.80	43.90	9.70	152.70	16.30	55.50

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体カテストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	17.90	20.00	31.20	40.30	45.70	9.50	157.60	25.00	54.20	第5学年	15.90	17.10	33.20	41.80	43.90	9.70	152.70	16.30	55.50

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	44.44	55.56	0.00	0.00	第5学年	90.00	10.00	0.00	0.00

学校独自の意識調査

○の数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
生活プラスカード実施の1週間で何日運動をしたか	0	1	1	0	1	1	6
	1	1	0	0	1	0	2
	2	1	0	2	0	2	5
	3	3	6	3	1	0	14
	4	2	8	0	5	3	19
	5	8	11	8	8	10	55
合計	5	16	26	13	16	16	106

重点課題

情意面での課題

- 「運動やスポーツをすることが好きですか」という質問に対して、肯定的回答をした児童の割合は100%であるが、声をかけないと外遊びをしない児童もいる。

体力面での課題

- 男女ともに、「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 男子は、「長座体前屈」「反復横跳び」「20mシャトルラン」において、県平均値かつ全国平均値より低い。
- 女子は、「上体起こし」「長座体前屈」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

令和8年度の重点目標値

- 1週間に3日以上運動する児童を85%以上にする。
- 「長座体前屈」「反復横跳び」を、県平均値かつ全国平均値以上にする。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- 年間を通して、遊具を使ったサーキットトレーニング、グーパー運動、親指タッチを継続して行う。
- 柔軟性、調整力向上のため、柔軟運動を行う。
- 素早く動く、タイミングよく動く、体のバランスを保ちながら動く運動の場を設定する。

体育の授業以外で行う取組内容

- 業間体育で、握力、投力、持久力向上のため、遊具（鉄棒、登り棒、雲梯）を使った運動やのあてボール投げ、3分間走を継続して行う。
- チャレンジ10に加えた「リズムに合わせて体を動かしたり、素早く体を動かしたりできる運動」を継続して行い、日常的に行えるようにする。
- 運動を身近に感じられるように、体育委員が主となり、様々な運動のコツやポイントを伝える場を設定する。
- 「生活プラスカード」の取組を継続して行い、生活習慣を見直す機会を設ける。